

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
吉岡 秀輝			
C (商学部)	S (専門科目)	L0 (流通)	201 (中級科目)

授業のねらい (概要)	<p>海外市場と市場開拓に関する基本的な知識を修得させ、海外市場開拓を主体的、創造的に行う能力と態度を育てる。貿易ビジネスの原則、海外市場に適する商品戦略、国際商品の価格戦略、海外市場への販売ルート、輸出商品の広告と宣伝、日本の輸出規制、世界各国の輸出規制、リスクマネジメント、貿易関係機関について学ぶとともに、世界市場の中心的な存在となっているアメリカ市場と中国市場について考察する。</p>
授業計画	<p>第1回 [遠隔] オリエンテーション 授業の進め方に関するガイダンス 貿易略史/貿易の意義、貿易の起源、貿易の地理的拡大、貿易の本格化、国際分業とは 予習 (時間) : イギリスにおける産業革命と貿易の拡大に関する経済史を調べておくこと。 (120分) 復習 (時間) : イギリス、ドイツ、アメリカ、日本各国の海外進出が活発化した状況を理解しておくこと。 (120分)</p> <p>第2回 [遠隔] 輸出取引の諸段階 輸出取引実務の諸段階/準備段階、契約の成立段階、契約の履行段階、決済段階、完了段階 予習 (時間) : 市場調査と信用調査の意義を確認しておくこと。 (120分) 復習 (時間) : 輸出取引実務の各段階を整理し、それぞれの意味する内容を把握しておくこと。 (120分)</p> <p>第3回 [遠隔] 取引一般条件 取引一般条件協定書/意義、内容 予習 (時間) : 取引一般条件協定書は、どのような目的で使われるのかを事前に調査しておくこと。 (120分) 復習 (時間) : 貿易上の引き合いとオファー、売買契約の成立の関係、クレームについて理解しておくこと。 (120分)</p> <p>第4回 [遠隔] トレード・タームズの意味 トレード・タームズ/国際規則、国際商業会議所、インコタームズ 予習 (時間) : トレード・タームズとは何か、事前の調査をしておくこと。 (120分) 復習 (時間) : 国際商業会議所が定義するトレード・タームズにはどのような種類があるのかを確認しておくこと。 (120分)</p> <p>第5回 インコタームズ (その1) インコタタームズ (1) / FOB、CIF 予習 (時間) : FOBおよびCIFの意味するところを調べておくこと。 (120分) 復習 (時間) : FOBとCIFの共通点と相違点を明確にしておくこと。 (120分)</p> <p>第6回 インコタームズ (その2) インコタタームズ (2) / FCA、CIP 予習 (時間) : FCAおよびCIPの意味するところを調べておくこと。 (120分) 復習 (時間) : FCAとFOB、CIPとCIFの相違点を確認しておくこと。 (120分)</p> <p>第7回 [課題] 売買契約の成立条件 契約の成立/引き合いとオファー 予習 (時間) : 貿易上のオファーと世間一般で使われているオファーの意味合いの違いを確認しておくこと。 (120分) 復習 (時間) : オファーの種類、売買契約成立の要件を再確認しておくこと。 (120分)</p> <p>第8回 輸出船積みの実際 輸出船積みの概略/在来船とコンテナ船、船積書類、船荷証券の意義 予習 (時間) : 貨物船の種類にはいかなるものがあるかを調べておくこと。 (120分) 復習 (時間) : 在来荷役に比べてコンテナ荷役が格段に効率的である点を理解しておくこと。 (120分)</p> <p>第9回 船荷証券の危機とその対応策 船荷証券の危機/保証状、運送状、海上貨物運送状、エアウェイビル 予習 (時間) : 船荷証券の危機とは、いかなる状況を指しているのかを確認しておくこと。 (120分) 復習 (時間) : 船荷証券と運送状の起源の違いを明確にしておくこと。保証状に関する船会社のリスクを考慮すること。 (120分)</p> <p>第10回 通関管理の意義 通関手続き/関税法上の輸入・輸出の定義、保税の意味、輸出入通関の流れ 予習 (時間) : 常識論でいう輸出・輸入と関税法上の輸出・輸入の違いを確認しておくこと。 (120分) 復習 (時間) : 保税とはいかなる機能を有するのかを理解できるようにしておくこと。 (120分)</p>

	<p>第11回 [課題] 輸出代金の決済手段としての為替手形 代金決済(1) / 荷為替手形の原理、償還請求権とは、為替手形の構成要素(為替のひな形と構成要素)</p> <p>予習(時間): 為替決済の仕組みを理解しておくこと。(120分) 復習(時間): 荷為替手形の意味、手形証券面の記載事項ならびに償還請求権を理解して、為替決済の原理を確認しておくこと。(120分)</p> <p>第12回 輸出代金の決済手段としての荷為替信用状 代金決済(2) / 信用状の定義、信用状の当事者、信用状の機能、信用状の種類(取消不能信用状と取消可能信用状、確認信用状と無確認信用状)、信用状と商業送り状の関係、荷為替信用状の統一運動</p> <p>予習(時間): 信用状の意義について調べておくこと。(120分) 復習(時間): 信用状の定義を確認し、その機能、種類、船積書類と信用状の関係を理解しておくこと。(120分)</p> <p>第13回 [課題] 貿易リスクと貨物保険 クレームとリスク・マネジメント / リスクの分類、貨物海上保険、信用保険、ヘッジの原理</p> <p>予習(時間): クレームには輸入者が輸出者に対して提起する求償と、運送中に損害が生じた際の保険会社への求償の二通りがあることを確認しておくこと。(120分) 復習(時間): リスク・マネジメントにおけるリスクの対象を理解しておくこと。(120分)</p> <p>第14回 グローバリゼーションの今日的意義 国際貿易の質的变化—グローバル化と企業内貿易の進展</p> <p>予習(時間): わが国の貿易における企業内貿易の位置づけをしておくこと。(120分) 復習(時間): グローバル化の進展により、企業内貿易は増加傾向にあることをデータ的に確認しておくこと。(120分)</p> <p>第15回 アンチ・グローバリズム論の台頭に直面して 総括 / 自由貿易協定(FTA)、経済連携協定(EPA)と日本の貿易</p> <p>予習(時間): FTAとEPAの意義について整理し、確認しておくこと。(120分) 復習(時間): FTAおよびEPAが日本の貿易にどのような影響を及ぼしているか理解すること。(120分)</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	<p>1. 経営学の専門的知識を持ち、組織全体を見渡す能力 2. 経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】 論理的思考力・グローバルな視野</p>
到達目標	<p>①輸出取引の概要を説明できる。 ②貿易実務におけるトレード・タームズの意義を理解できる。 ③FOB、CIFの説明ができる。 ④船荷証券の意義を理解し、関連して船荷証券の危機とその対処法を説明できる。 ⑤為替手形による代金決済の方法と荷為替信用状の意義および機能を説明できる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>小テストを随時、実施する。採点后、答案を返却して解説する。 授業の理解度を高めるための課題を出す。</p>
履修上の注意	<p>必要に応じて資料プリントを配付する。散逸しないようにファイルすること。また、教科書の内容を発展させた事例も講義するのでノートをしっかり取ること。交通論は関連事項が多いので、履修しておくことが望ましい。</p>
成績評価の方法・基準	<p>学期末に定期試験(筆記試験)を実施する。小テストを随時、行う予定でいる。また、レポートも課す。定期試験60%、小テスト20%、学修意欲20%の割合で総合評価する。</p>
教科書	<p>入門・貿易実務(第3版)(日経文庫) ISBN番号: 978-4-532-11244-8 著者名: 椿弘次 出版社: 日本経済新聞出版社 発行年: 2011年 価格: 860円 備考: 教員用献本必要</p>
参考書・教材	<p>【参考書】 物流新時代とグローバル化 著者名: 吉岡秀輝 出版社: 時潮社 発行年: 2017年 価格: 2800円 / 新流通・マーケティング入門 著者名: 金弘錫・美藤信也・吉岡秀輝・田中敦之 出版社: 成山堂書店 発行年: 2017年 価格: 2800円</p>
備考	<p>講義科目 2020年度は、7、11、13回を課題研究として学習する。 第7回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」に該当する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や当初シラバス通りに実施する。これらの指示確認を5、6回の対面授業で行う。全体で330分の学習を想定している。 第11回 第7回同様の実施として、指示確認を9、10回の対面授業で行う。全体で330分の学習を想定している。 第13回 第7回同様の実施として、指示確認を12、14回の対面授業で行う。全体で330分の学習を想定している。 「成績評価の方法・基準」欄「定期試験」は「最終レポート」で代替する。実施方法の評価と評価基準は第1回で概要を授業中およびmellyで告知し、詳細を第11回で同様に告知する。</p>
教員との連絡方法	<p>メール、オフィスアワー</p>